

NIKKEN

同窓会通信

2021
春号

学校法人 創志学園 日本健康医療専門学校
第 17 回 卒業 証 書 授 与 式



特集

- ・ありがとう 古賀稔彦校長
- ・インタビューレポート ～スペシャリストへの挑戦～
- ・第29回国家試験の報告
- ・2020年度 卒業生インタビュー
- ・同窓会主催 就職説明会のご案内



日本健康医療専門学校

特集1 ありがとう 古賀稔彦校長



本校の古賀稔彦学校長が3月24日午前 53歳で永眠しました。

突然の悲報に接し、教職員や在学生はもとより卒業生は哀しみに包まれております。

古賀校長は2008年に本校の学校長に就任して以来、12年にわたり様々な場面で元気と勇気、そして多くの希望を私たちに与えてくださいました。

入学式では、新入生に「この機会に保護者の方へ感謝の気持ちを言葉で表しましょう。ありがとうございます。」と大きな声と柔らかな笑顔で話をされ、緊張感に包まれた新入生の気持ちをほぐしていただきました。

学校行事の節目に際しては、創志学園の教育理念である「夢・挑戦・達成」への動機づけを行い、目標に向かって努力し続けることの大切さを幾度も語りかけていただきました。

また、柔道整復師・はり師きゅう師国家試験に向けて不安な気持ちの学生に対しては「これまでの自分の努力を信じてベストを尽くしなさい」と激励され、大きな原動力となり学生が自信を持って受験に臨むことができ合格の夢をつかむことができました。

そして、教職員に対しても「学生に頑張れと言う前に、率先して教職員が頑張らなければ、学生はついてきません。日々精進してください」と常に指導していただきました。

これまで学生たちが入学時の夢に挑み続けられたのも、古賀稔彦校長の教育への情熱の賜物と感謝いたしております。

謹んで哀悼の意を捧げ、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<古賀稔彦学校長経歴>

柔道家、古賀塾塾長。

学校法人創志学園 日本健康医療専門学校 校長

I P U・環太平洋大学体育学部体育学科教授、同女子柔道部総監督

全日本柔道女子強化委員（谷本歩実選手〈アテネオリンピック金メダル〉を指導）

92年バルセロナオリンピック柔道71kg級金メダル。

96年アトランタオリンピック柔道78kg級銀メダル。

全日本体重別選手権71kg級優勝（87～92年）

講道館杯71kg級優勝（88～92年）



緊張している新入生を和ませながら、教育や夢について熱く語る古賀校長



柔道初心者が多い校内柔道大会でも準備体操から率先して指導している古賀校長



オリンピックの実体験による気持ちの高め方を例えながら、国試前の過ごし方を教えてくれる古賀校長



ひとりひとり目を見ながら卒業証書を渡す古賀校長



ReBOOT灸灸整骨院
代表 長島茂之
柔道整復学科 2期
灸灸学科 4期

再起を図る人を支援し 夢を実現させる場所を目指して

事故によるケガで苦しみ 治療家を志す

20代の前半、私はバイクで事故に遭い、足の骨折やムチ打ちなどの大ケガをしました。以前のように走ったり飛んだりすることが出来ず、水泳やバスケが大好きだったので、もうスポーツはできないのかもしれない、とかなり落ち込みました。

当時、通っていた整骨院での治療やリハビリによって症状が劇的に改善し、元のように動けるようになったことで、絶望的な気分から治療によって救われた…ひとりの患者として、治療の効果を実感し、先生の優しさにも癒されました。

その時、「治療家の資格を取得して人を治せるようになりたい。私と同じように、苦しみ悩んでいる人の再起をサポートしたい」と思いました。

2003年、日本健康医療専門学校（ニッケン）の柔道整復学科に入学。担任は、さまざまな人生経験を積み、魅力的な先生でした。先生の経験や考えをうかがうにつれ、いつしか私も治療だけではなく、若手の教育もしてみたいと思うようになりました。

在学中は、午前はアルバイト、午後は授業という毎日でした。柔整の3

年目に、鍼灸学科に進学しました。当時働いていた治療院で、めまいや頭痛、自律神経の不調などの患者さんが多かったことがその理由です。患者さんの悩みを聞く中で、自分も鍼灸によって多くの人を救いたいと思いました。

入学当時から開業を視野に入れていたため、在学中にはいくつかのグループ院で働きました。若手人材の教育に定評がある院、技術の優れた先生がいる院など、特徴のある治療院でそれぞれの強みや長所を学んだのです。柔道整復師の資格取得後には、責任あるポジションに就き、自分の理想とする治療院のイメージを描きながら仕事をしていました。そして、2008年、はり師きゅう師の資格も取得してニッケンを卒業しました。

教員資格を取得 臨床経験も経て開業へ

卒業後は、鍼灸の教員養成課程に進み、教員技法や治療技術の研鑽、臨床経験も積むことができました。その後、柔道整復師の教員養成課程に。その間は、グループ院で院長として新規開業の経験も積みしました。



2種類の教員免許を取得後、私の師が校長を務める沖縄の医療系専門学校に招聘されました。私は柔道整復学科の学科長を務め、付属治療院で治療も行なうことになりました。

沖縄ではスポーツが盛んなため、多くのケガをした子どもたちやスポーツ選手、その他に痛みや不調を訴える高齢者まで、幅広い患者さんを診ていました。その中で、治療だけではなくケガをしない体づくり、病気になる健康づくりという「予防」が地域医療に重要であると強く感じました。

教育者そして治療家としてたくさんの経験を重ねて、2015年、いよいよ自分の治療院「ReBOOT灸灸整骨院」を開業することになりました。

場所は、地元である江戸川区。治療は柔道整復術による運動器疾患の対応と、鍼灸治療で自律神経系や婦人科疾患などに対応します。また、リハビリも重視し、当時では珍しかったリハビリのスペースも併設しました。

開業1年目は、周知に苦労しました。今までの経験から、駅前の激戦区を避けて、あえて住宅街の立地を選びました。地元なので友人などは来てくれますが、なかなか患者さんが増えませんでした。ネット広告やポスティングによる周知を図り、少年野球チームでのメディカル・チェック、町内会のお祭り参加など、地元のコミュニティに積極的に関わるようにしました。

交流が深まるうちに、徐々に患者さんも増え、さらにご家族やご友人などの紹介と、地元だけでなく遠方からの患者さんも増加。やはり、口コミの力は大きいと実感しました。

資格取得者の研修や 人材育成の施設をつくりたい

ReBOOT灸灸整骨院の「reboot（リブート）」とは再起動という意味ですが、当院では再スタート、再チャレンジという意味合いも含んでいます。

患者さんの身体を再起動させ、あきらめていた目標に再チャレンジして、再び笑顔で人生を歩んでほしい…という思いから名づけました。

身体の不調や痛みによって「旅行をあきらめた」、「ケガで試合に出られない」など、自分にとってかけがえのない楽しみや夢を断念しなくてはいけないこともあります。私たちは、そんな人たちの再スタートを応援

し、実現させる場所を目指しています。

当院では、治療前の問診と検査、姿勢チェックを重視しています。全身が映る鏡を一緒に見ながら、歪みや姿勢を共有することで、患者さんに健康意識を持ってもらうように促しています。

そして、東洋医学と西洋医学を融合した検査や評価を行い、最適な治療プランを提案しています。痛みの改善だけでなく、柔軟性や筋力の向上、運動機能の改善を図り、復帰までをしっかりサポートすることで、再び目標にチャレンジする身体づくりを目指します。

新型コロナウイルスの感染拡大は、当院にも大きな影響がありました。非常事態宣言中は、来院できない患者さんのために、「運動不足」や「肩こり・腰痛」などお悩み別のコンテンツを作り、自宅出来る筋トレやストレッチなどオリジナルの動画を配信しました。

新型コロナウイルスの影響は、患者さんの心身にも現れています。不眠やめまい、頭痛など、自律神経系の症状を訴える患者さんが増えています。長期化する自粛生活に不安やストレスが蓄積し、身体的な不調につながっているのでしょう。問診の時間を多めにとり、少しでも不安を解消し、くつろいでいただけるように治療を行なっています。

今後としては、治療家としてもっと研鑽を積みたい、また教育者として優秀な人材を育成したい、そんな想いがあります。そのため、現在は治療の傍ら医療系専門学校で講師としても教壇に立っています。

今、治療院の院長を務めているのは私の教え子です。臨床現場で成長し活躍している姿を見るのは、何よりも喜びです。将来的には、資格取得者の卒後研修と治療院の機能を併せもつ施設を東京と沖縄につくり、人材を育てたいと考えています。

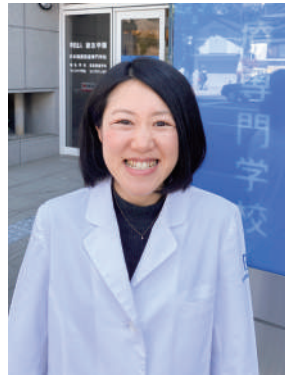
柔整も鍼灸も人を治す仕事です。資格や技術だけがあってもうまくいくとは限りません。人と向き合う、寄り添うという姿勢が不可欠だと思います。

今後も、治療家が患者さんから必要とされることは変わらないでしょうが、治療家自身の質や人間性も問われてきます。病院とはちがう、より身近な存在として、人々をサポートする役割を担う存在として、その自覚と責任感をもちながら治療を行うことが大切です。

開業を目指す皆さんは、その覚悟をもって将来に向かって羽ばたいてほしいと思います。



特集3 第29回国家試験の報告



柔道整復学科3年学年主任
藤田みなと
(柔道整復学科9期卒業生)

柔整
はり
きゅう
98.3%
97.6%
97.6%



鍼灸学科3年学年主任
鈴木誠
(鍼灸学科5期卒業生)

国家試験に向けてスタートダッシュを切ろうとした4月、緊急事態宣言の影響で教員も学生も自由に登校ができなくなりました。教科書や教材は全て郵送で送り、学生とのコミュニケーションはオンラインでのみ。直接指導ができないもどかしさ、私たちも学生も誰もが大きな不安を抱える中、とにかくできることをやるしかない工夫し、必死に過ごす毎日でした。5月から8月までオンデマンド授業を続け、通常の授業に戻ったのは9月でした。それでも完全な通常の状況ではなく、ソーシャルディスタンス、消毒、換気などの感染予防に考慮しながらのラストスパートとなりました。今年度は教員だけでなく、学生同士も協力し合い文字通り汗と涙の1年間で全力で過ごしました。その結果、本校開校以来、初めての全員受験・100%受験を達成することができました。ニッケンの底力を発揮できた1年間だったと思います。

今年度は新型コロナウイルスによる2度の緊急事態宣言が発令され、例年とは異なる環境での国家試験となりました。感染拡大防止のため、分散登校や自宅学習を余儀なくされ国家試験への準備も思うようにできない時期もありました。その中で、教職員と学生が一丸となりこのような状況乗り越えるべくWebを用いたオンライン授業を構築し学習を進め、対面はできなくてもオンラインでのコミュニケーションを増やし、国家試験への準備を行ってきました。このような環境の中で鍼灸学科の3年生は在籍者全員が卒業し国家試験の合格率も全国平均を大きく上回ることができました。このような結果になったのは、ニッケンの教職員が環境の変化に対応し全力でサポート出来たこと、そして何よりも全学生が努力を惜しまなかった事が要因だと思います。この経験を活かし、次年度以降も学生の目標達成に向けて全力でサポートしていきます。

特集4 2020年度 卒業生インタビュー 創志学園理事長賞授与者



医師に信頼される治療家として
患者さんをサポート
京増友洋さん(柔道整復学科卒業)

国家試験に無事合格できて「やっと長かった受験勉強から開放された!」という気持ちです。柔道整復学科での3年間は、とにかく勉強が楽しかった。高校までは生物学が大好きで、医学にも興味がありました。人間の身体構造に興味・関心があった私にとって、柔整のどの科目も面白く、好奇心が刺激されました。好きなことはすぐ覚えるタイプなので、日々の勉強はほとんど授業だけ。試験前だけ家で勉強していました。

特に私がニッケンを選んだ理由のひとつが、解剖学実習があるということだったので、その実習は最高に楽しかった。大好きな解剖学で得た知識を検証でき、人の身体のしくみをリアルに見るという貴重な経験をすることができました。

ずっと成績は上位クラスだったのですが、2年生の中盤にトップを取ること

ができました。それ以来、自分の中で(トップをキープしなくては...)というこだわりが芽生え、そのプレッシャーとの戦いがつらかったです。

また、2年次に一般臨床医学を担当してくださった先生から、3年では外科学を受講できるはずだったのですが、新型コロナウイルスの感染拡大により、対面授業が減ってしまいました。それも非常に残念でした。

2年半ばかりはとにかく1位を死守することを目標に、「やるしかない!」という精神で勉強してきました。その目標と国家試験合格を叶えることができ満足しています。

今年の4月からは、鍼灸学科に進学。また、3月からは午後、病院のリハビリ科で仕事をしています。最初は緊張しましたが、先輩からの「君が不安だと患者さんがさらに不安になるよ、自信をもって!」という言葉で心機一転。ニッケンで学んだことを活かして楽しく働いています。

将来的には、柔整と鍼灸の資格を持つ治療家として、医師や医療スタッフと信頼関係を築きながら、連携して仕事ができるようになりたい。患者さんに寄り添い、痛みや不調を治し、健やかに暮らすサポートができる治療家を目指しています。

ありませんが、相手が理解できた瞬間の感動は格別。成績が上がっていくと、自分のことのようにうれしくなります。3年生になると、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、リモート授業に。彼女には、メールで練習問題を送ったり、電話で解説したりしていました。

私たちの学年は学力が低く、国家試験合格が危ぶまれていました。クラスメイトは明るくてのびのびした子ばかり。私はみんなが大好きだったので、なんとしても一緒に合格して、卒業したかった。そこで先生に相談して、グループ勉強をすることにしました。勉強したい人を募り、成績上位者には指導役をお願いしました。一緒に勉強して、苦手な科目を教え合う。徐々にみんなの成績が上がっていきました。

だからこそ、クラスメイト全員が一人も落ちこぼれることなく、国家試験に合格でき、卒業できたことが、最高にうれしいのです。

ニッケンでの3年間は、鍼灸の世界、さらには「人に教える」喜びを知ることができました。私は、卒業後は、教員養成課程に進学し、鍼灸の教師を目指します。鍼灸を学生たちに教えて、多くの人々に感謝されるようなスペシャリストを育てていきたいと思っています。



クラス全員で合格・卒業できて
最高にうれしい
岩井李恩さん(鍼灸学科卒業)

国家試験も無事終了。今は「クラス全員が、無事に卒業できた!」といううれしさが胸がいっぱいです。

スポーツトレーナーにあこがれてニッケンに入学した私ですが、いざ授業が始まると、奥深い鍼灸の世界に魅了されてしまいました。勉強自体が楽しくてしょうがない。壁に貼りだされる模試の結果では、常に成績上位者に。そうなるにさらに勉強が楽しくなります。

2年生になった時、午後部の女子から「勉強を教えてください」と頼られました。部活が忙しく、基礎を学ぶ1年間、あまり勉強していなかったとのこと。私は人に勉強を教えた経験はなかったのですが、引き受けることにしました。それからが大変です。1年分の遅れを早急に取り戻さなくてはなりません。勉強法を工夫して、毎日一緒に勉強しました。教えることは簡単では

特集5 同窓会主催 ～同窓会就職説明会～

この度、日本健康医療専門学校同窓会主催の就職説明会を実施することとなりました。在校生に対しまして信頼のおける卒業生の皆様の関わる治療院をご紹介させていただき、ニッケン生の就職にご協力いただければ幸いです。

【日 時】 令和3年6月19日(土) 16:00～18:00(予定) ※5月29日締め切り
令和3年8月21日(土) 16:00～18:00(予定) ※7月30日締め切り

【場 所】 日本健康医療専門学校6階大教室

【条 件】 恐れ入りますがご参加いただける治療院は以下の通りとさせていただきます。

- ①卒業生が経営する治療院
- ②卒業生が勤務する治療院
- ③その他、同窓会が適当であると認めた場合
- ④以上のいずれにおいても、説明会に卒業生が出席いただける場合
(設置ブースに限りがございますので、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。)

参加希望の方は、下記方法にてご返信ください。

- ①宛名シール内QRコード
- ②メール：niken.dosokai@gmail.com
- ③同封の表紙のハガキにて郵送
- ④フリーダイヤル・フリーFAX

日本健康医療専門学校は 修学支援(学費無償化)の対象校です。 ～経済的理由で進学をあきらめないでください～

最大で入学金**16万円**、授業料**59万円**が国から支給されます。
さらに給付型奨学金(返済義務なし)が最大**3万8千円**(自宅通学者/月額)、**7万5千円**(自宅外通学者/月額)国から支給されます。**(それぞれ支給には条件があります。)**
詳しくはニッケン事務局または文部科学省HPにアクセスしてください。

●専門実践教育訓練給付制度をご利用ください! (厚生労働大臣指定講座：鍼灸学科)

雇用保険の一般被保険者等(在職者)または一般被保険者等であった方(離職者)が、当校の鍼灸学科を受講すると**各年次に40万円ずつ合計120万円**が支給されます。
更に鍼灸師となって正職員として雇用された場合**48万円が追加支給**されて、**最大168万円**が支給される給付金制度です。支給要件等がございます。詳しくはお問い合わせください。

●卒業生優遇入試のご案内

卒業生を対象とした特別な入試制度です。
新たに資格取得をお考えの方は、ご参考になさってください。

◆募集学科

鍼灸学科(午前部・午後部)
柔道整復学科(昼間部午前・昼間部午後)

◆出願書類

入学志願書、志望動機書、受験票・写真票、
可否通知用封筒、受験票発送用封筒

◆選考料

無料 ※一般30,000円

◆試験科目

面接

◆学納金

3,300,000円(3年間総額) ※一般 4,650,000円
延納・分納のご相談もお受けしております。
(別紙の専門実践教育給付金制度もご覧ください)

清宮克幸新校長ご挨拶

15歳でラグビーと出会い、選手17年監督18年間のラグビー中心の生活を2年前に卒業しました。私の学生時代は素材や環境に恵まれない選手、チームが、いかにして勝つかという事に没頭した7年間でした。そこで得たものは、独自の戦略を練り、挑み続ける事で結果は変えることが出来る。ということです。このことは、その後の人生の支えとなる貴重な経験でした。独自の戦略を立てて、戦うために必要なことは、情報を集め分析し計画を立てること。そしてそれを実践し、検証すること。足りないものがあれば補うし、補うものが手に入らなければそれを自分たちで創るという事だと。

この度、ご縁があり創志学園日本健康医療専門学校校長を拝命する事になりました。ここに集う学生たち、職員、先生方と新たな創造に挑戦し、結果を変える。「ここに来て良かった」という笑顔を増やすことが出来ますよう、その任を精一杯努めさせていただきます。

皆さま、どうかよろしくお願い申し上げます。



清宮克幸新校長

清宮克幸

★次号にて新校長インタビューを予定しています。

令和3年度 同窓会総会のご案内

令和3年度 日本健康医療専門学校同窓会定時総会(常任委員会)を下記の通り開催いたします。今回はオンラインにて開催いたします。

記

日 時：令和3年9月2日(木) 13:00～14:00

報告事項：2020年度 事業報告の件

報告事項：2021年度 事業計画の件

審議事項：常任委員の承認及び事業計画の承認

会則に従い本会の基本的運営は常任委員によって行われます。常任委員への選出をご希望の方は同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。定時総会参加に必要なURL等をお知らせいたします。

卒業生紹介のご案内

本校卒業生から入学者をご紹介いただいた際は、**入学生と卒業生に大きな特典**がございます。資格取得を考えている方が身近にいる場合は、是非一度学校へご連絡ください。

(注意)連絡がない場合は特典が得られない場合がありますので、必ずご連絡をお願い致します!!

同窓会からのお知らせ

「在校生の現場見学提供治療院」様 募集

近年は、治療現場を経験せず卒業する学生が増えております。そこで開業されている卒業生限定で、母校の学生の為に治療院を見学の場として提供して下さる方を募集いたします。是非、現場の臨場感を伝えて頂きたいのです。年に1回30分程度で構いません。ご興味のある方は、卒業時の担任氏名を加えて藤田みなと(mail:niken.dosokai@gmail.com)までご連絡ください。

同窓会運営室(日本健康医療専門学校内)

名前、住所変更がありましたら同封の住所変更欄にご記入いただき、FAXか下記フリーダイヤルにて、ご連絡ください。知らせていただいた方には謝礼(クオカード1000円分)を差し上げます。

連絡先

同窓会事務局

TEL:0120-10-9899 (内線168)

FAX:0120-10-9184 (終日受付)

編集後記

例年であれば歓送迎会などの時期ですが、自粛されるところがほとんどかと思えます。今年も静かに新年度が始まりました。コロナ禍の一年がこれまでの生活を見直し、良い意味でリセットする機会となれば、新たなスタートを切るタイミングになるかもしれません。

同窓生の皆様におかれまして、この難局に立ち向かわれていることと存じます。ニッセンでは1年間、リモート授業を併用しながら、何とか年度を終えることができました。国家試験に関しまして、3年生全

員受験をすることができたことは何よりも幸いです。

同窓生の皆様には、引き続き学生紹介をお願いさせていただければと思います。社会人入試については「教育訓練給付金」の対象校となっております。更に2つ目の資格取得を目指す方々にも様々な制度がございます。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

新年度が皆様にとって少しでも良い年になりますように心よりお祈り申し上げます。